

過去に行った一般質問の進捗状況は



宮田 竜一 議員

問 都市計画マスタープランにある道の駅の設置について、設置場所など情報収集を含め、幅広く調査研究する答弁であったが、進捗はどうか。

答 道の駅は、道路利用者に安全で快適な道路環境を提供するとともに、

新たなにぎわいの創出と、観光振興や経済の発展につながることから、先進事例や国の支援メニューなどについて、情報収集を行ってきた。

関平鉱泉水の売り上げアップを

問 高濃度の炭酸ガスを加え、「関平鉱泉強炭酸水」として高付加価値を付けた商品販売し、売上金額を更に増やしては



←現在の関平鉱泉水

←関平鉱泉強炭酸水の商品イメージ



(※注) 販売はされていません



詳しくはこちら

誰もが投票しやすい環境整備を



野村 和人 議員

問 選挙啓発にポスターやSNSの活用などの充実や、開票速報でも報道機関との連携など選挙広報の充実を図れないか。

答 選挙啓発はこれまでも取り組んできたが、ポスターやSNSを活用した啓発も検討していく。開票速報においても、より迅速で正確な速報に努めていく。

問 投票所への移動のために公共交通機関の無料化または補助はできないか。

答 公共交通機関の確保が困難な有権者の投票機会を確保するための支援措置として調査・研究していく。

問 再編と共に共通投票所の導入ができないか。

答 選挙人が市内どの投票所でも投票できる共通投票所は、二重投票を防止する措置として全ての投票所を結ぶネットワークの構築が必要となる。システムの構築には多額の費用を要するため、投票所再編を進める中で検討課題として捉えている。

その他の質問

・省エネ住宅・耐震住宅の推進と法改正に伴う市民負担の軽減について



詳しくはこちら

防災ラジオの整備を急げ



有村 隆志 議員

問 今回の水源地水の濁りを伝えた防災行政無線、きりしま防災・行政ナビ、FMきりしまなどによる迅速な情報伝達に課題はなかったか。

答 今回、給水情報を防災行政無線で10回広報したが、情報伝達が十分に市民に通知できていなかった。また、国分地区中心部では個別受信機などを設置する自治会が少なく、情報伝達に支障をきたしたのではと考えている。今後どのような形が一番良いか、検討を行っていく。

問 今回の課題から、新たな情報伝達手段をどのように整備していく考えか。

答 高齢者や障がい者を含む市民は、どうしても情報が確実に届くのか検討し、市民の皆様が不安がないように整備していくことが大切だと考えている。FMきりしまでの防災情報伝達や、きりしま防災・行政ナビ情報の普及も図りたい。

きりしま防災・行政ナビ 無料

かんたん操作で、まちの情報をいち早く。



詳しくはこちら

観光振興に貢献してきた西郷どん像の今後の管理は



久保 史睦 議員

問 日当山西郷どん像は地元温泉通り会が昭和63年に作製し地元で愛されてきた。老朽化に伴い撤去を検討している。過去に市の要望で見送った経緯があるが、市で維持管理を検討するのにか。

答 地域のシンボリックな役割として本市の観光振興にも寄与してきたと認識している。維持管理について日当山温泉通り会と市で協議を行い、現状を把握した。一般的には設置者での管理が原則と考えるが、過去の経緯なども考慮した上で、協議を継続する。



日当山西郷どん像

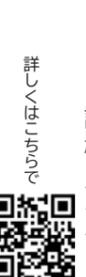
公園におけるペットのふん対策の強化を

問 公園のペットのふん放置は改善されない状況がある。注意喚起や警告を促す看板について通常よりも大きく、また条例に基づき厳罰を明記したものを作成し、対策強化に取り組みめないか。

答 これまで条例に基づく罰則などを明記した看板を作成したことはないが、現状の看板で状況が改善されない公園については、市民に理解を得られる対策を検討する。

その他の質問

・放課後児童育成事業における課題について



詳しくはこちら

消防職員の処遇改善を



松枝 正浩 議員

問 緊急消防援助隊の創設背景と職員派遣の実績、消防庁通知を受けて、手当の支給はできないか。

答 阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、人命救助活動を効果的かつ迅速に行うことを目的に創設された。これまで東日本大震災、熊本地震へ派遣している。県内自治体などの状況を調査し、手当の支給を検討していく。

問 陳情採択後、外部委員構成の運営委員会を4回開催し、第2回運営委員会では、陳情者との意見交換を行うなど、勤労者視点以外の議論も行ってはいる。今後、男女共同参画の視点を踏まえ、多くの方が利用しやすい施設となるように努める。

働く女性の家運営委員会で男女共同参画の議論を

問 陳情採択後、男女共同参画の議論は行われているのか。また、今後の施設運営をどのように考えているのか。

答 陳情採択後、男女共同参画の議論は行われている。また、今後の施設運営をどのように考えているのか。

その他の質問

・こどもの声を施策へ反映させる方策について



詳しくはこちら

もっと魅力ある丸岡公園に



塩井川 公子 議員

問 丸岡公園が5か年計画で改修中である。日本一のゴーカートやジップライン、ふれあい広場の整備が予定されており、今後さらに魅力が増し、観光客が増える予測される。一方で、レストランのメニュー改善や営業時間延長の要望が多くあるが、対応が難しい状況と聞く。指定管理者とはどのような協議・協力をしてきたのか。

答 毎月の定期報告や年度事業報告書に対するモニタリングを行い、施設の管理運営状況を確認・検証しており、日頃から指定管理者と連携を図り、利用者のサービス向上に努めている。

問 観光客がスムーズに公園を利用できるように、看板の点検や補修、リニューアルを行うべきではないか。

答 総合案内看板は、現在実施中の事業の進捗にあわせ更新し、その他の看板は点検し、順次、補修や交換を行う。



補修が必要な看板



詳しくはこちら